

1

見守り活動の必要性と目的

なぜ今、見守り・支えあいが必要なのでしょう？

少子高齢化の急速な進行と近所付き合いの希薄化や過度なプライバシー意識などから、高齢者の孤立が大きな社会問題となっています。

名古屋市では、本市のめざす「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち、名古屋」を実現するために策定された地域福祉計画（「なごやか地域福祉 2020」）に基づき、孤立を生まない地域づくりのための方策として、すべての人が安心して生活できる共生型の地域づくりを進めるとともに、見守り体制を充実させるための様々な取り組みを進めています。

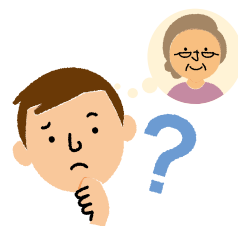
その中でも、見守り活動は住民同士がつながりあうきっかけでもあり、ともに支えあって暮らしていくことができる地域づくりを進めるうえで、身近で、かつとても重要な取り組みです。

日常のささいな変化に気づく地域の見守り活動が、孤立しがちな方々の安心な暮らしにつながります。お互いに見守り、見守られる“支えあい”の活動であることを念頭に置き、双方が負担や不安を感じないような関係を築いて取り組んでいきましょう。

(1) 見守り活動の役割

見つける・つなげる

「〇〇さん、最近様子がおかしいな」「よく見かけるあの人、大丈夫かな」と同じ地域で暮らす住民ならではの「ちょっとした気づき」が、支援が必要な方の早期発見につながります。普段の生活や見守り活動の中で、「ちょっとした気づき」にアンテナを張ることで、支援が必要な方を発見し、発見したことを支援者に「つなぐ」ことで、大事に至らないケースも多くあります。



見 守 る

ご近所の「気になる方」を日常的・継続的に見守るということは、同じ地域で暮らす住民だからできることです。日常生活の中での声かけはもちろん、「そっと見守る」ことも安否確認になります。サロン活動などのグループ活動の中でも、見守りの意識を持つことによって、さらにその役割が高まります。

つながる・予防する

見守り活動を通してご近所の方同士で「つながる」ことは、閉じこもりの予防にも役立ち、元気な時から気にかけて、気かけられる関係を作っておくことが、孤立を生まない安心して生活できる地域づくりにつながります。

ちょっとした変化を早期に発見し、対応することで、高齢者虐待などを未然に防ぐなど、深刻な状況に陥る前に支援の手が届くことが多くあります。



(2) 名古屋市における見守り活動

～名古屋市ではどのような見守り活動が行われているのだろう？～

① 地域におけるサポート

地域の方が主体となった見守り活動には以下のようなものがあります。

- 民生委員・児童委員による見守り活動
- なごやかクラブ（老人クラブ）による友愛訪問
- 地域福祉推進協議会による、ふれあいネットワークやサロン活動などの活動
その他、ボランティア活動等の自主的な見守り活動 等

地域福祉推進協議会とは

地域福祉推進協議会は、住民が主体的に福祉活動を進めるための組織です。
小学校区ごとに設置されています。



② 名古屋市のサービス

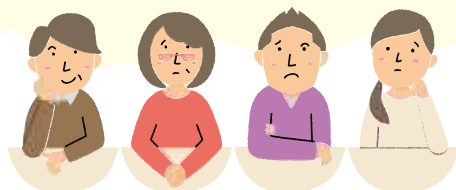
行政の取り組みとして、以下のような取り組みを行っています。

- 区役所の高齢者福祉相談員による訪問活動
- 緊急通報事業（あんしん電話）
- 配食サービス（配食＋安否確認）
- いきいき支援センターの見守り支援員による見守り訪問・電話
- 高齢者見守り協力事業者による見守り
- 市営住宅ふれあい創出事業
- 高齢者福祉電話の貸与 等

その他、民間事業者による見守りサービスや、特定非営利活動法人（NPO 法人）などの保証人サービスなども、見守りの仕組みのひとつです。

あなたの地域に、地域での見守りが必要な方はいませんか？

SOSが出せなくても、支援を必要としている場合も多くあります。
見守りが必要な方を発見することも、見守り活動の大きな役割のひとつです。
ぜひ、地域の中で、目配り、気配りをしてみてください。



多様な主体による見守り活動

